

# 市政クラブ 活動報告

Vol.3平成19年11月

発行：市政クラブ



## 高野 たけし

無所属34歳・2期目

逗子市議会議員

総務常任委員会委員

中央大学大学院修士課程修了



## 長島 有里

無所属29歳・1期目

逗子市議会議員

教育・民生常任委員会委員

立教大学法学部卒

## 改革を後退させずに 継承、さらなる発展を！

### 条例逃れのミニ開発。 事業者に対して厳格な対応を！

常に開発の危機にさらされている逗子のまちなみ。

開発を見過ごしたままにしないために、市民が総力を挙げてつくりあげた「逗子市まちづくり条例」。逗子市は過去約8年間で東京ドームのグラウンド約15個分の緑地を保全してきました。

その一方で、条例逃れの悪質な開発計画が出てきています。開発行為がまちづくり条例にかかるには、300㎡以上の建築行為になります。そこで条例逃れを考える事業者は一度の計画を300㎡未満にし、期間をあけて同一敷地内に開発していきます。また、さらに悪質なものになると最初から300㎡以上の開発計画を念頭に置き、長い污水配水管を当初より敷設している例もあります。

こうした悪質な開発計画を行わせないためにも、条例逃れと考えられる開発計画に関しては、すべての事案において顧問弁護士のアドバイスを求め、厳しい条例の運用・解釈が図られるよう市長に求めたところです。



無残に削り  
取られた  
がけ地…。

## 逗子湘南ロケーション映画祭

### 逗子の資源は人と環境。

これまで素晴らしい逗子市の環境、つまりロケーションを活かすよう、フィルムコミッション業務に力が注がれてきました。

今年で第三回目となる逗子映画祭。前年度は、シナリオ大賞が行われ全国から123作品のシナリオの応募がありました。受賞者は逗子を舞台とした脚本を映像化し、今回の映画祭で上映されます。シナリオコンペティションと上映をセットで行うことで、地元逗子を舞台とした映画を毎年楽しむことができる仕組みでした。

ところが、今年度の映画祭では、シナリオコンペティションを開催しないとのこと。今年度はシナリオスクールも休止。理由は、賞金の確保が難しいからとのことでした。

### シナリオ受賞者への賞金

は総額で130万円。これは、任意協力金 からその一部に充てられています。

制作会社から撮影に協力した際もらう任意の寄付金のこと。今年度は、その協力金が、集まらず、そのためコンクールを開催できないとのことでした。そこで、企業に対して資金提供を幅広く集めるよう働きかけたらどうか、と市長に質したところ、「行政が行うのは難しい」との答えでした。



### 山形の国際映画祭などで

は、民間がスポンサーとなつて活気ある映画祭が行われています。また逗子の花火大会も民間から資金提供を受けていますが、それは行政側からお願したものです。決して行政が民間に資金提供を求めることは難しくありません。

平井市長が訴えてきた市民参加を実現する手段としても、フィルムコミッションや映画祭という手段を積極的に活用すべきだと考えます。なお今年度の「逗子湘南ロケーション映画祭」では、シナリオ大賞受賞作品の上映他、「さく」天国で君に会えたら、「殞の森」など見どころ満載です。チケットは各日千円。逗子文化プラザ046 870 6622までお問い合わせください。

## ご存じですか？ ビーチマネー

逗子海岸を歩いていると、ゴミや流木に混ざってガラス瓶のかげらが落ちているのを見かけます。こうした色とりどりのガラス片をビーチマネーとして、地域通貨のように利用できるようにしたのが、ビーチマネーです。



ビーチマネー参加店のステッカー



この活動は藤沢のサーファーらが発案し、全国的に行政主導の地域通貨はなかなか成功していない中で、今では湘南海岸近くのさまざまなお店で流通しているそうです。海岸の美化清掃を楽しみながらできる素晴らしいアイデアだと思います。みなさんも参加してはいかがでしょうか。

## 編集後記

10月下旬に、長島一由前逗子市長の本が二冊出版されました。一冊は逗子市政で取り組んだ政治行政改革などについて記述した「浮動票の時代」(講談社)。もう一冊は、映画・映像によるまちづくりについて記述した「フィルムコミッションガイド映画・映像によるまちづくり」(WAVE出版)です。本にも記載されていますが、市役所は市長だけでなく、職員も人事異動で変わるにもかかわらずマニュアルはありません。このため、これからは逗子市で取り組むべき課題について整理したマニュアルのつもりで書いたなどといったことです。これからの地域再生に必要なこと。こうした視点を参考にしつつ、私たちはこれからも建設的な提言をしていくつもりです。



者の方たちが希望した時、すぐに入所できるよう定員拡充を含め、早急な改善を強く求めました。



また、これまでは逗子市役所に電話をかけるとお電話ありがとうございませうと告げるとともに、名前を名乗っていました。しかしながら、今年になって夜間の警備も含め、電話交換手は名前を名乗らなくなりました。役所はたらい回しをする、という悪いイメージをもたれないためにも責任の所在をはっきりさせるという効用は大きかったはずですが、コストをかけずに市民サービスを向上させるために、取り組みの再開を要望したつもりです。

やめてしまつのは簡単なこと

「保育園に入れないんだけど…」あるお母さんから相談の電話を受けたのは六月のことでした。一歳のお子さんを預けるのに、市内二園の公立保育園が満杯とのこと。早速所管である福祉部に聞いたところ、市内五園ある保育園のうち、今現在一歳児保育の受け入れが可能なのは、民間保育園の二園のみでした。近くの保育園は満杯ですが、空いている保育園はあるのでそちらに入所したらどうですか」とお話しすると、車もないので朝のラッシュ時に小坪から沼間まで行かなくてはならないのは厳しいとお答えでした。その後何人ものお母さんから保育園に入れなくて困っている、という声を聞き、九月定例会で保育園の定員拡充について市長に質しました。

待機児童はいない？

市長の返答は、「待機児童がいないので拡充については必要がない」というもの。しかし、その後もさらに保育園の定員は増え続け、民間保育園では定員を大幅にオーバーして受け入れている現状にあります。

平井市長は「どのまちよりも子育てしやすいまちをめざす」という公約を掲げています。このことから、保護

市の税金の使い道のコスト分析を市民生活の身近なところまで落とし込んで、周知する税金力ロリー計算。例えば、自転車撤去一台あたり11,612円、10リットルのごみ収集処理に1袋51円などの数字が表示されています。ところが、今年度になり市民への周知をやめた場所があります。事業のコスト分析をして、表示、公表することとは、税金の使われ方を情報共有するうえで、とても大切なことです。一つした取り組みは、とりやめて後退させるのではなく、さらに拡充して、逗子市の情報公開を進めるべきと考えます。

一つ一つは小さなことでも…他にも、事務事業評価シートやディマンドタクシーの廃止など、これまでの改革を後退させているのでは、と受け止めざるを得ないような事業の廃止や見直しが目立ちます。新市長に交代したことで、新たな目線で見直し、検証することに異論を唱えるわけではありません。ただし、事業を廃止したり、縮小していくことは簡単です。一つ一つは小さな事業でも、それぞれが自治体経営に大きく寄与しています。市長の決定は重要なものです。適切な決断で逗子市をさらに発展させていきたいと思います。